

# ネリーズ



## 通信

### 第5号



2017.2.28発行

編集発行責任者

社会福祉法人

練馬区社会福祉協議会

ネリーズ推進担当者

## ネリーズシンポジウムを開催

11月30日(水)に練馬区立生涯学習センターホールにおいて、ネリーズのシンポジウムとして、「つながりのある地域をつくる〜気づきあひ 育ちあひ 地域づくり〜」を開催しました。基調講演として立教大学准教授の飯村史恵さんから「今、なぜネリーズなのか」をテーマにご講演いただき、ネリーズとは「地域でこんなことをしてみよう」「こんなことが地域にあるとちょっと楽しいよね」など、みんなで思いを共有し、つながり合うことだとお話しをいただきました。後半はネリーズに登録している3名の方から、ネリーズとして考えていることなどをそれぞれの立場からお話しいただき、意見交換をしました。

参加者からは「ゆるくつながること、自分ができることをやればいいんだ。」「日頃から周りの人たちが困っていないか、気にかけてながら過ごすくらいで大丈夫なんだ。」などの感想があり、ネリーズを知っていただき、地域のつながりについて考えるきっかけになりました。



11月30日(水)生涯学習センターにて シンポジストの皆さん

ネリーズとは…日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、「ゆるやかに見守りあい、暮らしやすい地域づくり」を目指している皆さんです。※「ネリーズ」は、地域福祉協働推進員の愛称です。

## ネリーズ地区懇談会を開催しています

どんなことをしたのかな？



練馬区社会福祉協議会  
ネリーズ

**大泉地区**は、12月22日、「大泉障害者地域生活支援センターさくら」で行い、12名のネリーズが集まりました。さくらのセンター長から障害のある方が地域生活を送るうえで感じている困りごとなど、日々の相談からお話がありました。今回のお話をいろいろな人に聞かせたいという感想もありましたが、心に響いた話を自身の周りに発信し広めていくことがネリーズの力なのかもしれませんね。

**光が丘地区**は、1月26日に見て！知って！話そう！というテーマで『やすらぎ夢工房』に集まりました。見学をしながらネリーズである利用者みなさんからお話を伺いました。挨拶や声かけの難しさについて意見交換し、「声をかけてみると実は声をかけた自分が温かい気持ちになる」ことや知るこの大切さ、自分が知ったことを地域に発信していくことがネリーズの役割でもあること、などを共有しました。

**石神井地区**は、2月2日に『石神井障害者地域生活支援センターういんぐ』で開催しました。参加者は27名。「石神井ビンゴ」と題したアイスブレイクから始まり、『フローラ石神井公園』と『ういんぐ』からネリーズエピソードを紹介、その後ネリーズとしての取組みについて意見交換をしました。「つきあいのないところにはふれあいはない」ということで、まずはお互いを知る機会を作ったり、ネリーズを広く周知してはどうかという提案がありました。

## ネリーズ勉強会報告

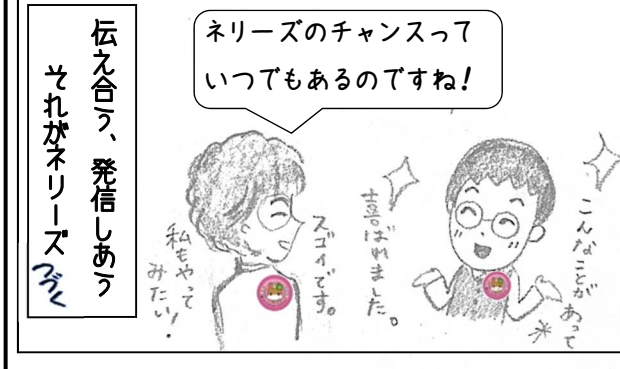
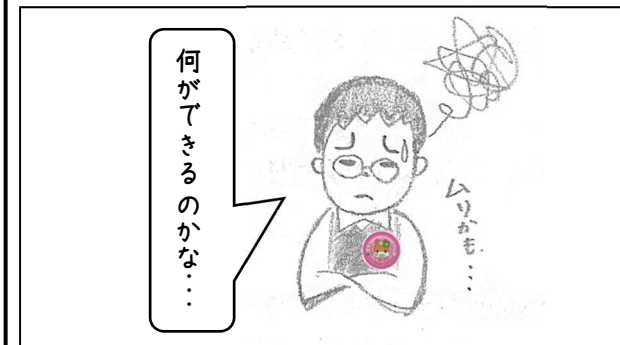
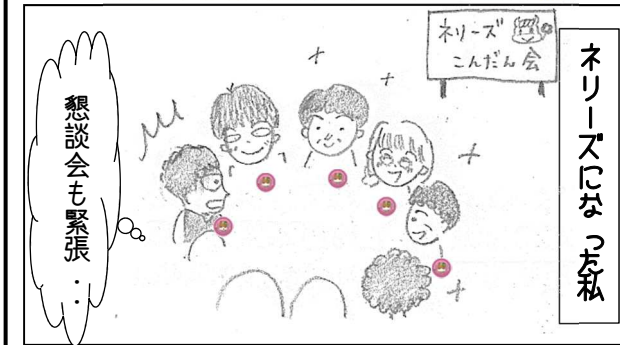
ネリーズ勉強会は、近隣の方たちとつながりながら暮らしやすい地域づくりをするために3日間にわたり気づく力と地域の課題をどうつかむかについて学び合いました。

3日間連続講座として1月23日(月)、30日(月)、2月13日(月)午後2時〜午後4時に行い、29名の参加がありました。1日目は、経営管理課 椿から「なぜネリーズなのか」をテーマに、現代社会の取り巻く状況から今、公的な支援だけでなく、私的な支援「助け合い」が求められること等、具体的な例とともに学びました。2日目は、地域で住民の方々の困りごとや課題を汲み取って活動されている土支田の関口さんと南大泉の豊さんのお話を伺い、その後、練馬駅周辺の商店街から住宅街を皆でまち歩きしながら、まちの昼と夜の顔の違いや特色など、それぞれの気づきを共有しました。

3日目は、ワークシートを使い、活動していること、何のために活動しているのか、課題に思っていること等の意見交換を行いました。そこから、課題が見えづらくなっている今、気づく力や課題をどうつかむかを考えていくことが必要であると確認できました。終了後、参加者から「いろいろな立場の方の話に、こちらの考え方が広がった。」「さらにメンバーの勇気ある力ミングアウトを聞き、大いに参考になりました。」「地域で活動している方々がたくさんいらして、地域のつながりがいかに大切かを学びました。」と感想を頂きました。



## これならできるぞネリーズ! Aさん編



## みんなでつくる「ネリーズかるた」

ネリーズのさまざまな取り組みや、まちで見かけた「嬉しかった! 幸せだった! こういうのもネリーズかな」といったエピソードを、かるたにしてみませんか? 小学校や児童館など配布を予定しています。エピソード、標語、イラスト等さまざまな形でのご参加をお待ちしています!

応募、お問合せは社協の各部署まで。

こんな標語も出たよ



ゆるゆると大きく広げれネリーズの輪



つながる共感近所との会話



### ◆お申し込み・お問合せ◆

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 〒176-0012 練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5階  
<http://www.neri-shakyo.com/> E-mail/info@neri-shakyo.com  
 TEL 03-3992-5600 FAX 03-3994-1224